

1. 授業題目

医療薬学特論（薬学履修課程 医療薬学特別講義Ⅱ）

単位数 3

開講時間 月曜日 9:00 ~ 12:00

担当教員 富岡 佳久、眞野 成康、高橋 信行、平澤 典保、鈴木 直人、
村井ユリ子、平塚 真弘、高橋 則男、高松 昭司、小嶋 文良

2. 授業の目的・概要

病態の理解、病態の知識に基づく創薬への貢献、医薬品の批判的評価と適正使用、先導的専門性薬剤師としての実践の基礎と応用を含めた社会薬学の理解を深めるために、日本における疾病構造、代表的な疾患と医療薬学の関係を述べる。また、医療薬学の理論と実際について論述する。更に疾病・病態の理解に基づいた最新の診断分析方法を論述し、将来の医療薬学のあり方について考察を求め演習する。

3. 達成目標

病態を理解し、病態の理解に基づく医療薬学のあり方を考察できる。最新の疾病診断と分析法を説明できる。自らが目指す先導的薬剤師としての役割を自覚し、将来の医療の担い手としての基本を説明できる。

4. 授業内容

回	講義日	担当教員	項目	講義内容
1	10/15	富岡 佳久	医療薬学の理論と実践	Pharmaceutical Care と Patient Care、薬剤師に求められる Disease Management、薬剤師の専門化の必要性について理解する。米国における急性期医療・慢性期医療における薬剤師活動を理解する。
2			同 演習	医療薬学の理論と実践に関する演習を様々な方式で行い、理解力や表現力などを向上できる。
3	10/22	高橋 則男	医療薬学の理論と実践	主に病院経営や患者利益の観点から、薬剤経済学的なアプローチに関する理論と実践について理解する。ジェネリック医薬品の位置づけを理解する。
4			同 演習	薬剤経済学に関する具体的例から理解を深める。
5	10/29	高松 昭司	医薬品開発から市販後安全対策まで	医薬品開発から市販後安全対策について、近年の薬事行政や国際的な動向も踏まえ、承認審査や市販後安全対策の実例を挙げながら概説できる。
6			同 演習	医薬品開発から市販後安全対策に関する演習を様々な方式で行い、理解力や表現力などを向上できる。
7	11/5	眞野 成康	最新化学診断法	質量分析法による各種疾患の化学診断法の進歩や、その技術を応用した TDM の実践並びにバイオマーカー探索に関する最新動向を理解する。
8			同 演習	化学診断法に関する演習を様々な方式で行い、理解力や表現力などの向上を図る。

9	11/12	高橋 信行	CKD（慢性腎臓病）の病態と治療	CKD（慢性腎臓病）について、その定義・分類や病態を学び、さらに現在行われている治療法とその問題点、今後向けての展望などを議論する。
10			同 演習	CKD（慢性腎臓病）に関する演習を様々な方式で行い、理解力や表現力などの向上を図る。
11	11/19	平澤 典保	代謝性疾患の病態と薬物	糖尿病を中心に、代謝性疾患の発症と病態ならびに治療薬の作用機構について理解する。さらにその現状での問題点と動物や細胞を用いた基礎研究の最新の動向について理解する。
12			同 演習	糖尿病患者のいくつかの所見、検査値からそれぞれに適した処方設計を考察することにより、理解力などの向上を図る。
13	11/26	鈴木 直人	高度先進医療への薬学的アプローチと臨床研究	代表的な高度先進医療、新たな治療・診断への薬学的アプローチ、病態メタボロミクス等の事例を理解する。
14			同 演習	高度先進医療への薬学的アプローチと臨床研究に関する演習を様々な方式で行い、理解力や表現力などの向上を図る。
15	12/3	村井ユリ子	リスクマネジメントの理論と実践	創薬の原点である医療の理解、薬学の医療への応用性を体得するため、医療薬学の理論と実践について「医薬品情報」「リスクマネジメント」を中心に具体的に説明できるようになる。
16			同 演習	医療薬学の理論と実践に関する演習を様々な方式で行い、理解力や表現力などの向上を図る。
17	12/10	平塚 真弘	遺伝子多型診断による個別化薬物療法	薬物代謝酵素や薬物トランスポーターの遺伝子多型診断による医薬品の選択、投与量設定、副作用回避などに関する個別化薬物療法の臨床応用例を理解する。

18			同 演習	遺伝子多型診断による個別化薬物療法に関する演習を様々な方式で行い、理解や表現力などの向上を図る。
19	12/17	小嶋 文良	医薬品の治験とCRCの役割	医薬品や医療機器開発の最終段階として治験は欠かせないことを理解する。また、その現状と問題点、並びにCRCの役割と期待される将来像について概説できる。
20			同 演習	治験を理解すると共に、CRCの役割について、現状や問題点を把握した上でその対応能力の向上を図る。
21	未定	富岡 佳久 眞野 成康 高橋 信行	特論特別講義2	複数の特別講義の中から興味のあるものを各自一つ選択し、医療薬学における最新の知見を理解する。
22		平澤 典保 鈴木 直人 村井ユリ子 平塚 真弘	同 演習	特別講義を聞いた内容を整理すると共にそれらをより正確な知識とするために関連する総説や論文を読んで理解を深める。また、それらをレポートにまとめるための訓練を行い、文章執筆能力を体得する。

5. 成績評価方法

演習における質疑応答とレポートを基礎に評価する。

6. 教科書・参考書

各講義内で指定する。